要望1.物価高騰および

八件費増大に対する病院

熱費は近年2~3割上昇

した。電気・ガス等の光

療材料費は為替の影響を

加している。特に人件費

の高騰は深刻であり、看

し、給食・清掃・警備等

止まらない。このような 強く受け、材料費高騰が

コスト増は診療報酬の伸

る競争が激化し、給与水

護師や医師の確保をめぐ

ひでは到底吸収できず、

への支援について

来見副会長は冒頭にお

の委託費も相次いで値上

非常事態にある」と強調 いて、「病院経営は今や

らに輸入依存度の高い医

赤字転落に陥る病院が増

い状況にある。処遇改善 準を引き上げざるを得な

り、老朽化した病院の建

建築資材費の高騰も加わ は不十分である。さらに チーム全体の士気維持に

化が明記されています。

げが通知されている。さ

に関する検討会の経過報 心診療提供体制のあり方

りましたので、今後の滋

加し、その中でも85歳以

85歳以上のがん罹患者数

は団塊の世代の高齢化に

込まれています。 0%と減少は少ないと見

が現状であり、今後は、 は増えていないというの

放射線療法の需要です

、こちらは近年、放射

(一般社団法人滋賀県病院協会

理事)

その他45都道府県で減少、

**滋賀県はマイナス5から** 

ですが、外科医について

医師総数は増加の実績

らも沖縄と東京が増加で、

込まれています。

療法の需要ですが、こち

がん患者における手術

総長(兼)病院長 足立

上の40%増加が見込まれ

ています。15歳から64歳

より、やや増加すると見

込まれています。

賀県における「がん診療

告。及び、国立がん研究

催された、第18回都道府

令和7年7月11日に開

とともに、持続可能なが

構成は、高齢者3653

ます。2040年の人口

の将来推計を示されてい

いるとのことですが、滋

少することが見込まれて 一方で、31都道府県で減

賀県は、プラス5から

機械的に、がん罹患者数

1年の全国がん登録から

万から3928万人に増

患者数は減少するものの、

います。

10%の増加が見込まれて

ます。65歳未満のがん罹

ん医療の提供に向け、国

滋賀県におけるがん診療体制について

滋賀県立総合病院

じ、均てん化を推進する 今後は、地域の実情に応

る検討会を開催されてい

提供体制のあり方に関す

県がん診療連携拠点病院

連絡協議会(国協議会)

で、厚生労働省から『が

(1)

集約化も含めた地域最

は、現在、第4期で、が

います。がん対策基本法

ん医療の均てん化・集約

年を見据えた、がん診療

昨年12月から2040

口が減少する予測です。 2017年から202

心に16都道府県で増加、

ん罹患者数が都市部を中

さんが増えていることか 線治療を選択される患者

全国で増加、滋賀県

都道府県単位では、

医療提供体制への処方箋

戦略的議論から導くがん センターから『データと

いて私見を述べたいと思

約化を推進するとのこと の役割分担を踏まえた集 提供を行い、拠点病院等 から検討に必要なデータ

の生産年齢人口が15%減

し、それに伴って全人

提供体制」の将来像につ

適の追求-』の報告があ

# 令和7年度 「病院医療懇談会」



(滋賀県厚生会館3階) http://sbk.co-site.jp/ 会長 三木

療人材の確保と育成、

偏

であるため、若手医師は

在対策について

医師確保・偏在対策

大津市京町四丁目3-28 TEL 077 - 525 - 7525 不可欠である」と訴えた。 る事例が相次いでいる。 替えや改修計画が延期ま 政による<br />
抜本的な<br />
支援が を支える存在であり、行 には中止を余儀なくされ 病院は県民生活の基盤

<sup>工體</sup>滋賀県病院協会

発行所

師数が全国平均を依然と

楠井副会長は、県内の医

して下回っている現状を

ある」と訴えた。

示し、とりわけ湖東・湖

回答(医療政策課)

# |開催される

### 長(Zoom参加)をはじめ、41病院42名(Zoom参加は20名)、さらに病院協会看護部長部会から上村千馨 子部会長をはじめ3名が参加した。会議に先立ち三木会長、山田部長から挨拶があり、来見副会長の進行で討議 においてハイブリッド形式で開催された。1.物価高騰および人件費増大に対する病院への支援について、2. 滋賀県からは滋賀県健康医療福祉部の山田忠利部長、小嶋栄子次長、切手俊弘次長をはじめ医療政策課、健康 滋賀県病院協会と滋賀県の共催で令和了年度病院医療懇談会が滋賀県危機管理センタ・ 対象職種は限定的であり、 加算は導入されたものの 理事長兼院長 隆副会 救急医 経営の逼迫状況を深刻に 受け止めており、可能な 制約はあるものの、病院 切手次長は、「制度上の であることを報告した。 追加的支援を予算要求中 県独自の財源を活用した 方針を示した。さらに、 の光熱費支援を継続する 用する大規模医療機関へ また、特別高圧電力を使 ド制導入を国に強く働き かけていると説明した。 診療報酬への物価スライ へ、全国知事会を通じて

地域を支える医療人材の確保と育成、偏在対策について、3.勤務環境改善・働き方改革について、4.

医療安全対策事業について討議が行われた。

般社団法人滋賀県病院協会 理事(広報担当)

辻川

知之

く受け止めている」と述

ざるを得ない事例や、専 られず近隣府県に搬送せ た。救急患者を受け入れ 北地域の深刻さに言及し

しも病院経営の危機を重

橋本課長は、「県とし

回答(医療政策課)

(地方独立行政法人公立甲賀病院

しが推進課、薬務課、子育て支援課から計8名、病院協会からは三木恒治会長、来見良誠副会長、楠井

療の課題について、5.-CTの利活用について、6.

令和7年9月3日冰、

### を求めた。 (2)

えるため、さらなる協力

師に地域勤務の魅力を伝

表するとともに、若手医

ン事業への支援に謝意を

瀕する」と強調した。臨 地域医療は崩壊の危機に

床研修オリエンテーショ

そして、「医師が地域に

でいる実情を報告した。

門診療科の閉鎖が相次い

る流れを変えなければ、 根付かず都市部へ流出す

## 限りの支援を模索してい 成について

## 研修医を含む医師育

# 要望2 地域を支える医

く」と補足した。

### 研修医の教育環境が脆弱 足が慢性化し、研修体制 が十分に整っていない。 中小病院では指導医不

とした。さらに、公立・

体制の整備に努めていく をはじめとする医療提供

公的病院のみならず中小

規模病院も含め、地域の

求めた。

組む意向を示し、協力を

### の増加が見込まれていま は沖縄と東京、神奈川と 奈川、愛知と並んでトッ 並んでトップの30%以上 滋賀県は沖縄と東京、神 ノの20%以上の増加が見 薬物療法の需要ですが、 ではなく、回復期病院に

### りますが、今後、滋賀県 も含めて、しっかりと議 とは、ご相談させていた さんたちの不利益がない 療体制を、がん診療連携 受診するように記載があ ように病院協会の先生方 滋賀県におけるがん患者 論する必要性があります 緩和ケア病棟を持つ病院 拠点病院と回復期病院や 内で高齢者がん患者の診 があるとし、①看護職の ぎ、復職を支援する必要 既存の看護職の離職を防 存続が危ぶまれる」と危 養成校の志願者が減少し、 (3) 看護職について までは養成校そのものの ると報告した。「このま 確保定着・看護補助者確 機感を表明した。さらに、 定員割れが常態化してい 上村部会長は、看護師

## だきたいと思います。

### 医師にとって、本県で臨 定着が望めない。協会は ることにより、医師確保 り組む方針を示した。ま 床研修を始める上で極め 医の確保や資質向上を図 しており、引き続き指導 は大変重要であると認識 た、指導医の果たす役割 施に向け協会とともに取 た。そのうえで、継続実 と受け止めていると述べ 出身者を含む多くの新任 委託事業として実施した 教育機能を維持するため 大病院へ流れ、地域への ンテーション」が、県外 し有意義な機会となった 臨床研修医総合オリエ 病院規模にかかわらず には県の支援が不可欠で 県は、昨年度協会への

会場の様子

### の充実」および・イー新 ・アー看護人材確保対策 て支援課) 回答(医療政策課・子育

境改善に向け、協会や各 医療機関と連携して取り

心して働き続けられる環 医療を支える勤務医が安

### 進めていること、また小 施策を講じることで人材 卒看護職の県内就職率上 確保に努めることを説明 職の各段階で切れ目なく らも委員を迎えて検討を 関への協力支援」につい の拡充、専門学校支援、 魅力を発信し、進学・就 中学生の段階から看護の 昇を目指した看護教育機 した。奨学金や修学資金 し、協会看護部長部会か

の充実」については、 ・ウ「保育園・学童保育 内保育所整備や夜間・病

次ページへ続く)

であると述べた。

情報発信の強化、離職防

止や復職支援も検討対象

## 善、②人材育成、に基づ 保促進および勤務環境改 く支援策の必要性を訴え

### の救急受診を急性期病院 域医療構想では、高齢者 受けられない時代が来る がん手術を受けたくても 国の地

恐れがあります。



令和7年(2025年) 10月1日

および看護部長部会の堀 来見副会長、楠井副会長 今年度は令和7年7月28

旨説明をされるとともに し、各項目についての趣 同席された切手次長に対

る要望活動を行っており

日用に当協会の三木会長、

賀県の次年度予算に対す

当協会では、毎年、滋

望」 6項目が手渡された。

令和8年度予算編成に対する

年度県予算に対する要

療福祉部長のもとへ訪問

し、山田部長に「令和8

1面、2面に掲載してい

た。概要については本紙 の場で情報交換がなされ

るので参照されたい。

長の5名が滋賀県健康医 池副部会長、八里事務局

> 7年度病院医療懇談会\_ 日水に開催された「令和 のことについて、9月3 意見交換が行われた。こ

(前ページより続く)

149 号 (2)度を設けているが、今後 児保育等に対する補助制 の課題や体制について協 の要望に関しては各病院

を確保して利用希望に応 の対応を踏まえ、今後も た。新型コロナ感染症下 柔軟に運営し、保育人材

することを明らかにした。 ターと連携し普及を推進 看護師·特定行為研修\_ ・エ「専門看護師・認定 滋賀医科大学の研修セン 修学資金の貸付を継続し については、専任教員資 オ「看護教育の質確保」 については、資格取得や き方改革に伴いメディカ ルスタッフの役割が増大

潜在看護職の活用」<br />
につ ・カ「プラチナナース・

える体制整備を進めると 会からの情報提供を求め (4) メディカルスタッフ について

育力向上を図る意向を示 進し、実習充実や新人教 討している。臨床現場と 質向上のための助成や外 教育現場の人事交流も推 部講師確保支援、オンラ イン授業の導入などを検 支援や子育て支援、広報 であると述べ、就学資金 している一方、薬剤師・ 活動への協力を訴えた。 検査技師等の確保が困難 リハビリスタッフ・臨床

事業を拡充し、研修や いては、ナースセンター

> り起こしに取り組むとと 支援する方針を述べた。 もに、協会の協力を求め 在看護職の復職促進や掘 業も実施予定であり、潜 再就業チャレンジ支援事 ることで多様な働き方を マッチング支援を実施す るため、令和8年度から 態・地域の偏在を解消す た、薬剤師については業 始する予定であると説明 勤務薬剤師の奨学金返済 支援を行う補助事業を開

### 働き方改革について 要望3 勤務環境改善・

見直しが追いつかず、依 然として過重労働が常態 場の状況を報告した。制 小病院では医師数が少な 化している。とりわけ中 院によっては勤務体制の が設けられたものの、病 度上は時間外労働の上限 て一年以上を経過した現 間外労働規制が導入され く、当直やオンコール体 髙橋理事は、医師の時

## 回答(医療政策課)

いると報告した。今後も 続する方針を示した。ま 県内医療機関へ就職して 卒業し、そのうち76名が 県内需要を確認しつつ継 和6年度末までに85名が 資金貸与事業により、令 テーション専門職員修学 実施しているリハビリ 県は、平成29年度より

メディカルを含む全職員 のみならず、看護師やコ に、医師の勤務環境整備 であると指摘した。さら

入や休憩室整備など、業 要望した。 の労働環境改善が不可欠 して以下4点を重点的に であると強調し、協会と 勤怠管理システム導

務効率化および環境改善 に資する取組への補助継

それに伴う安全性確保お 性医師支援と保育体制整 働き続けられるよう、女 2. タスクシフト推進と、 3. 出産や育児を経ても よび研修体制の充実。

について、県民の理解を 療制限や待ち時間増加等 働き方改革に伴う診

日野理事は、医師の働

## (医療政策課)

制を維持することが困難 取組に係るランニングコ ストは対象外とされてい いるが、国において既存 えを示した。なお、医師 助メニューに位置づけて 室整備を含め、「病院勤 ついては、同補助金の補 事務作業補助者の雇用に 助金」の対象事業を拡充 務環境改善支援事業費補 機器導入や当直室・休憩 の対象としていたICT 改善に資する取組」およ し、引き続き支援する考 んばる医療応援補助金」 については、昨年度「が 5②「タスクシフト推進」 「業務効率化や環境

要望活動を実施しました 極的発信を求めた。 金」について、対象医療 環境整備等支援事業補助 あるとし、協会からの積 よる「生産性向上・職場 令和6年度国補正予算に 機関に案内を発送済みで

認識しており、 改善に取り組んでいると 全医療従事者の勤務環境 については、各医療機関 において女性医師を含む (3)「女性医師への支援」 協会が運

備に対する予算援助

保育体

携を図りたいと述べた。 センターを拠点とした支 る環境整備に努める意向 長く県内で働き続けられ 事者がやりがいを持って を実施しており、医療従 通じた就業支援、復職研 県としても「医師キャリ 援充実に向け、一層の連 修、院内保育所運営補助 アサポートセンター」を

を示した。

### 要望4 救急医療の課題 について

るため、新規配置の場合 ていると説明した。また、 に限り人件費を対象とし 摘した。そのうえで、財 な負担となっていると指 加わり、病院経営に大き 等、新たな課題が次々と 抱えている。さらにコロ の病院が慢性的な赤字を いると説明した。救急部 場は既に限界に近づいて 後の砦であるが、その現 政支援を中心とする<br />
五項 模災害時の受入体制強化 なった感染症対応、大規 ナ禍により浮き彫りと は地域住民の命を守る最 門は採算性が低く、多く

営する勤務環境改善支援 3. 継続的支援

全確保、持続可能な医療 の広報資料等を活用しつ を得られるよう、国作成 いただき、受診時の協力 働き方改革の趣旨を理解 も重要であると認識して みならず、医療の質・安 ついては、医師が健康に つ周知を図る考えを示し いる。県民に対し医師の 提供体制維持の観点から は、医師本人にとっての **働き続けられる環境整備** (4)「県民への周知」に

小川理事は、救急医療

救命救急センター整 ける情報共有の仕組みづ 子カルテの標準化、遠隔 である」と強調した。電 めICTの導入は不可避 の効率化と質の向上のた 診療の活用、病院間にお

2. 救急に従事する医師 5. 救急医療体制維持の ための複数年度にわたる する資金援助 陰圧個室化改修工事に対 療機器やドクターカー導 へのインセンティブ付与 人への経費補助 救命救急センターの 救急医療に必要な医

## 回答(医療政策課)

わる医師への直接的なイ るとした。救急医療に携 継続して予算確保に努め て支援しており、今後も でも国庫補助金を活用し 設改修についてはこれま であるが、設備整備や施 ンセンティブ付与は困難 運営費補助金」等の必要 えで、「救命救急センター の認識を示した。そのう 持は極めて重要であると 砦であり、その整備・維 ターは救急医療の最後の な予算確保に今後も努め 県は、救命救急セン

課へ相談されたいと付言 めていくとした。 のため継続的な措置に努 度の確保は困難であるが、 県いずれも単年度予算が があれば早めに医療政策 適切な救急 医療体制整備 原則であるため、複数年 した。また補助金は国・

### について 要望5 一CTの利活用

楠井副会長は、「医療 あるとした。厚生労働省 えを示した。 支援策を検討していく考 市国家構想交付金の活用、 補助金やデジタル田園都 先進事例の<br />
収集などを<br />
進

実には、導入コストや維 もICT導入が地域格差 なっている。「システム 持管理費の高さ、専門人 られており、協会として 導入しても維持できな 担当者が不在の病院では、 材の不足が大きな障壁と い」との現場の声が寄せ

ると述べた。具体的要望 自立運営が可能となるよ さがおネットの運営主体 と説明し、電子カルテは う引き続き積極的に関与 実施しており、将来的に 参画に要する経費補助を 述べた。また、びわ湖あ 業の拡充を含め、支援強 継続に不可欠なサイバー えを示した。さらに診療 ることを踏まえ、県とし るため多額の費用がかか 病院にとって心臓部であ 議も国の支援や診療報酬 ルテ導入・更新費用につ 回答(医療政策課) 化を国に働きかけたいと セキュリティ対策につい いては国立大学病院長会 に対しては、運用や新規 ても、国の技術者派遣事 しも国への要望を行う考 上の検討を要望している 医療政策課は、電子力

## 役割は大きい。しかし現

を生じさせぬよう支援を

## も後押ししていただきた

るを得ない

加えて、ICTの利活用 の観点からも重要であり、 していく方針を示した。 は医療人材の効率的活用 回答(医療政策課) い」と要望した。

を広げる取組を県として 田中理事は、「安全文化 を継続的に開催してきた。 としてもこれまで研修会 訓練が必要であり、協会 の文化を根付かせるため である。また、インシデ 間を確保することは困難 業務の中で十分な教育時 続的研修が不可欠である。 徹底するためには、院内 が定める安全管理体制を と強調した。厚生労働省 守る最重要課題である」 盤であり、県民の信頼を 全の確立は病院経営の基 には、職員全員の理解と における組織づくりと継 ノトやアクシデント報告 かし現実には、多忙な 田中理事は、「医療安

遠隔医療の検討も必要で 8年度においても研修予 年の第5次医療法改正に 算の確保に努めるとした。 策事業については、令和 を対象とした医療安全対 制の整備・確保が義務付 おいて、全ての医療機関 能な方策を検討するため 整備については、支援可 さらに、医療安全機器の 実施している県内全病院 補助は難しいが、協会が 医療安全事業への直接的 で、各病院が独自に行う 取り組んでいると認識し 題として医療安全対策に し、各病院では最優先課 けられていることに言及 管理者に医療安全管理体 にも個別相談を求めたい ていると述べた。その上 医療政策課は、平成19 県は「国 いては、 すると回答した。 を模索する」と述べ、財 女性医師の勤務継続支 つも対応を約束した。

### 要望6 医療安全対策事 業について

質疑応答

右から

三木会長、来見副会長

り建替え計画を断念せざ 引き上げが不可欠である 悪化については、「給与 病院事情を踏まえ相談に 寄せられた。これに対し ・病院建替えに関しては しつつ、県独自の支援策 ない」との声が相次いだ。 が診療報酬では吸収でき は応じたい」と回答した。 県は、「国の補助制度に 人件費高騰による経営 は限界があるが、個別の 建築資材費の高騰によ への要望を継続 >」との意見が の要望があった。県は障 のための支援が必要」と れた。県は「勤務環境改 る姿勢を示した。 院就職についても協力す より取り組んでおり、病 害者雇用促進に向け従前 は年々厳しく、雇用充実 育整備を進めるとした。 組む課題」との認識を示 善と合わせ重点的に取り 得ない」との現状が示さ い」「非常勤化せざるを 制が不十分で復帰できな 「病院における雇用状況 し、柔軟な勤務体制や保 障害者雇用に関しては、

援の拡大を前向きに検討 の訴えがあった。県は「専 の存続が危ぶまれる」と 割れが深刻で「学校自体 めて重要」とし、財政支 門職養成の基盤維持は極 ・看護学校の経営難につ 源確保の難しさを認めつ 教員不足や定員 る重要なインフラである。 さらに、「病院経営を取 今後とも協力と支援をお は市民生活の根幹を支え いが、医療・介護・福祉 り巻く環境は極めて厳し たことに謝意を表した。 職員に対応していただい 長時間にわたり多くの県 最後に楠井副会長から

働き方の多様化、人材の

ケーションと連携力では、

(3)

ちなどのハラスメント、

決めつけやため息、舌打 い方になっていないか、

にことに 責めるような言

指摘の目的が改善でなく

## 令和フ年度滋賀県病院協会第1回医事研究会 現場力アップ!多職種とつながる コミュニケーションと接遇の基本」を学んで

社会医療法人誠光会淡海医療センター 事務部 医事課 横江 真子

207会議室において第 の基本」について、ご講 ミュニケーションと接遇 株式会社ウィズネス教育 **海いただきました。** 先生より「現場力アッ コンサルタント本田妃世 一回医事研究会において、 ノー多職種とつながるコ 第1部課内コミュニ

ミュニケーショントラブ える背景を知りました。 ション機会の減少、心理 まいさ、忙しさを理由に の悪化、役割分担のあい さが引き起こす人間関係 思い違い、言い方のきつ ル例は、言った聞いてな と分業化、コミュニケー 多様性、情報の分断・ス 挙げられます。これらを 旳余裕の不足という今の ビード化、業務の専任化 伝え方が雑になるなどが い問題、確認不足による ニケーションに影響を与 柄院現場の環境とコミュ どこの職場でもあるコ

もとに事例ワークを行い 相手の理解不足や忘れ

7月15日火ピアザ淡海 いか、話を聞く時の態度 ンの改善ポイントになり 工夫がコミュニケーショ えてみるといった小さな 葉を選び直す、語尾を変 ました。一言添える、言 などの問題点が見つかり 感情の発散になっていな 第1部ではコミュニ

始まる③確認する:相手 ②聴く:相手の意図や感 ① 伝える: 何をなぜどの 任があることを学びまし 認プロセスと不明点をそ と理解をすり合わせる確 基盤はまず聴くことから なコミュニケーションの 情をくみ取る姿勢、円滑 ようにを意識して伝える ケーションの3つの基本

第2部多職種との連携

える風景が違うからこそ、 質の違いにより互いの業 が必要であることを理解 らせず、意味や意義を伝 情報を伝えることで終わ 務視点が異なるため、見 いてでは、担当業務の性 コミュニケーションにつ しました。 思いを共有すること

関わり方が求められます。 かったと思ってもらえる るまいを通じて、この人 葉遣いだけでなく、表情 相手の立場や状況をふま に対応してもらえてよ や声のトーン、立ち居ふ やりを込めた応対)、言 ごしてもらうための思い 遇の定義(接遇とは相手 話思考についてでは、接 に安心して気持ちよく過 第3部接遇の基本と発

えた言葉を選ぶ力を発話 いきたいと思います。

の気持ちに配慮しながら えるかを意識する力です ではなく、どのように伝 ただ正しいことを言うの 力と言い、発話思考とは 言葉を選ぶときには相手



伝えることが大切だと学

の対応はもちろん、多職 方や対応の仕方を磨いて ある対応を心掛け、伝え 持ちを想像し思いやりの もありますが、相手の気 務的になってしまうこと ました。私自身、慌ただ を与えるかに気付かされ 度が相手にどれだけ影響 のちょっとした言葉や態 取る力の両方が求められ る中で、伝える力と受け 種とのやりとりが多くあ 段の業務の中で患者様と 大切さについて学び、普 基本や多職種との連携の ていると改めて感じまし た。<br />
事例を<br />
通して、<br />
日常 い業務の中でつい、事 今回の研修で、接遇の 管理者の関心が高いこと 精神保健福祉事業功労者知事表彰受賞 ◆令和7年度

受賞おめでとうございます

◆令和7年度



の席上にて実施予定(令和8年2月頃予定)表彰式 「こころの健康フェスタ2025」

精神科長 滋賀医科大学医学部附属病院 尾關 祐二氏



波賀八幡病院 看護部部長 公益財団法人青樹会

表彰式

中央合同庁舎第5号館(厚生労働省)式 令和7年9月9日火

紹介いただきました。S





地域医療連携部課長 セフィロト病院 社会福祉法人青祥会

推進会議会長表彰受賞 推進会議会長表彰受賞 健やか親子21全国大会(母子保健家族) 表彰式

令和7年11月28日金

総合周産期母子医療センター長小児科 臨床遺伝相談科長滋賀医科大学医学部附属病院 丸尾 良浩 氏

## 令和フ年度滋賀県病院協会 看護部長部会研修会に参加して



地方独立行政法人公立甲賀病院

開催されました。当日は コラボしが21において 識」をテーマに研修会が 「病院看護管理者が知っ 名の参加者があり、看護 県内の各施設より107 いおきたい犯罪関連の知 令和7年9月5日金に、 り、ご講演いただきまし 第二係 がうかがわれました。 た。講演内容は、 ついて、滋賀県警察本 行う犯罪捜査の流れ」に 講演1では、「警察が 捜査第一課 強行犯 山﨑将司警部よ 大きく

点 晶子

判決までに至るのかを解 うに捜査が開始され、被 の流れについてです。事 医療現場としても事情聴 説していただきました。 件が発生してからどのよ 管轄、警察が対応する際

疑者の逮捕や勾留、起訴、 点目は、警察組織と 看護部長

接する機会がある職員に

取や被害者の保護等、直 め、通報のタイミングや 接かかわることがあるた り扱いなどの対応方法に 証拠保全、個人情報の取 ついて理解できる内容で 対する回答でした。質問

連絡方法等を、被害者に ような組織があることや 看護管理者として、この プで対応する組織です。 がないようにワンストッ た方がさらに傷つくこと 365日、被害にあわれ についてです。24時間 わ湖(通称SATOCO) 総合ケアワンストップび 二点目は性暴力被害者 ことがわかりました。 害者に対

救急医療功労者厚生労働大臣表彰受賞◆令和7年度 産科医療功労者厚生労働大臣表彰賞受賞 中央合同庁舎第5号館(厚生労働省) 優子氏 ついて、 いての解説がありました。 についてでした。制度の 援室
高田康弘警部より、 ンター や被害者支援センターと 環境整備として相談電話 また、被害申告しやすい とや、公費負担制度につ 犯や交通事件等であるこ 対象となる事件は、身体 ご講演いただきました。 における犯罪者支援制度 講演内容は、滋賀県警察 警務部 警察県民セ 犯罪被害者等支 滋賀県警察本

表彰式 令和7年9月9日火

社会医療法人誠光会

産婦人科統括部長 淡海医療センター

ト 部

く必要があると考えまし 対して十分に周知してお

事前に募っていた質問に 三点目は、参加者から 件被害者と接する機会が 周知がもっと必要である のような制度についての ある医療従事者には、こ ATOCOと同様に、事

と考えました。

理業務の中で、対応が困 対応に困難を感じている 難である事例についてで ブルなど、日常の看護管 のや、職員に関するトラ 対する対応についてのも の内容は、患者・家族に した。どの施設も同様の 講演2では、「事件被 する支援」に があります。しかし、警 る必要があると感じまし 後の対応がスムーズにな 今後は躊躇せずに通報す る場合もあるとの説明に、 察が介入することでその 応してしまっていること は、通報せずに内部で対 たらいい」が繰り返し出 まずは警察を呼んでくれ てほしい」や「迷ったら いいので速やかに通報し 残ったことは、「何でも 回答された言葉で印象に 質問が寄せられました。 応答の時間が設けられま ていたことです。病院で した。参加者から多くの 最後に参加者との質疑

の連携などがあることを える貴重な機会となりま た。 施設内の対応について考 を拝聴できて、今後の自 ない警察の方からの講演 今回の研修会に参加し 普段あまり関わりの

## 知らせ

済生会滋賀県病院

守民

社会福祉法人恩賜財団

令和 7年度(第36回) ソフトボール大会開催

時:令和7年11月16日(日)

日

※雨天中止

会場:高島市今津総合運動公園

